

奈良中心市街地公共交通活性化協議会

平成22年3月16日設置



奈良市

概要

奈良中心市街地は、都市機能の集積に加え、世界遺産など多くの観光資源を有する地域である。そのため、生活交通に観光交通が負荷され、交通渋滞や環境悪化などの問題が深刻化している。そこで、それらの問題に対応し、地域の快適性向上と活性化を図るとともに観光客の満足度の向上、さらには世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護を目的に、環境負荷の小さい「公共交通を中心とした交通システム」を構築に資する「奈良中心市街地公共交通総合連携計画」を策定する。

○地域公共交通の現況

- ・JR大和路線・万葉まほろば線(奈良駅・京終駅)
- ・近鉄奈良線・橿原線(近鉄奈良駅・新大宮駅)
 - ・大和西大寺駅・尼ヶ辻駅・西ノ京駅)
- ・奈良交通(株)(路線数:78系統)

○地域公共交通の課題

- ・モード間の乗継が不便
- ・路線バスの系統数が多く情報が煩雑
- ・奈良公園内などカバーしきれていない圏域が存在

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査(休日)
- ・現況観光実態調査(休日観光客・買い物客アンケート調査
 - ・観光バスドライバーヒアリング調査)

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・周遊バスの導入(奈良公園内・中心市街地内)
- ・観光拠点間周遊観光バスの導入
- ・パークアンドライド拡充とシャトルバスの運行

